

# Mizuho Daily Market Report

2023/2/6

## 為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	128.65	131.19	+2.51	+1.31
EUR	1.0897	1.0795	▲0.0115	▲0.0073
AUD	0.7062	0.6923	▲0.0154	▲0.0177
SGD	1.3116	1.3235	+0.0137	+0.0099
CNY	6.7449	6.7980	+0.0669	+0.0135
MYR	4.2636	4.2587	+0.0120	+0.0147
THB	33.00	32.96	+0.17	+0.09
IDR	14897	14893	+13	▲92
PHP	53.68	53.68	▲0.18	▲0.80
INR	82.25	81.84	▲0.34	+0.32

## 金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	3.525%	+13.2 bp	+2.1 bp
日本(10年)	0.496%	▲0.2 bp	+0.5 bp
ユーロ圏(10年)	2.193%	+11.3 bp	▲4.6 bp
オーストラリア(5年)	3.114%	▲14.1 bp	▲19.3 bp
シンガポール(5年)	2.783%	▲0.3 bp	▲0.3 bp
中国(5年)	2.677%	▲0.3 bp	▲4.1 bp
マレーシア(5年)	3.449%	▲2.2 bp	▲6.3 bp
タイ(5年)	2.060%	+0.2 bp	+0.5 bp
インドネシア(5年)	6.256%	▲2.9 bp	▲19.7 bp
フィリピン(5年)	5.778%	+2.0 bp	+2.1 bp
インド(5年)	7.107%	▲3.8 bp	▲9.7 bp

## 株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	33,926.01	▲0.4%	▲0.2%
N225(日本)	27,509.46	+0.4%	+0.5%
STOXX50(ユーロ圏)	4,257.98	+0.4%	+1.9%
ASX(オーストラリア)	4,339.71	+0.9%	+1.9%
FTSTI(シンガポール)	3,384.29	+0.6%	▲0.3%
SSEC(中国)	3,263.41	▲0.7%	▲0.0%
KLSE(マレーシア)	1,490.47	+0.0%	▲0.5%
SETI(タイ)	1,688.36	+0.3%	+0.4%
JKSE(インドネシア)	6,911.732	+0.3%	+0.2%
PSE(フィリピン)	7,027.38	+0.6%	▲0.4%
SENSEX(インド)	60,841.88	+1.5%	+2.5%

## 商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	266.19	▲2.0%	▲4.1%
金	1,864.97	▲2.5%	▲3.3%
原油(WTI)	73.39	▲3.3%	▲7.9%
銅	8,951.25	▲0.9%	▲3.1%

\*1週間前の終値と比較

## 【本日の予想レンジ】

USD/JPY	130.00	—	133.20
EUR/USD	1.0850	—	1.1200
AUD/USD	0.6990	—	0.7250
USD/SGD	1.2930	—	1.3180
USD/CNY	6.6800	—	6.7600
USD/MYR	4.2100	—	4.2820
USD/THB	32.50	—	33.10
USD/IDR	14850	—	15080
USD/PHP	53.80	—	54.90
USD/INR	81.60	—	82.30

## 【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (2)	<	Bear (4)
USD/SGD	Bull (2)	<	Bear (4)

Contact:  
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department  
Tel: 65-6805-4100

## 【為替】

アジア時間のドル円は128円台後半でオープン。前日に米債が大幅に金利低下したことを受けて、128円半ばまで下落。主要中銀の金融引締めサイクルが終わりに近づき、景気が改善するとの期待から日経平均株価が上昇すると、ドル円も追従し128円後半まで上昇。しかし、その後は直近軟調な決算が発表された銘柄に売りが入り、株価指数全体に下落圧力が掛かり、ドル円は128円半ばまで再び下落。引けにかけては小幅戻し128円台後半で海外時間へ渡った。

アジア通貨は大半が下落する展開となった。アジア時間においては米1月雇用統計の発表を前にして全般的に小動きだったが、雇用統計発表の良好な結果を受けドル買いが強まりアジア通貨は売られる展開となった。

海外市場のドル円は128円台前半まで下落する局面もあったが、米雇用統計の発表を控え、更なる売りは手控えられ128円台半ばでNYオープン。注目の米1月雇用統計発表では非農業部門雇用者数、失業率が予想以上に改善したことから賃金インフレの加速懸念が再燃し、米金利上昇とともにドル買いで反応し、130円台前半まで急伸。その後、米1月ISM非製造業景況指数が予想を上回ると、ドル買いが加速し131.18まで上昇。その後も底堅い推移が続き131円台前半でクロスした。

## 【金利】

米債利回りは大幅上昇。1月米雇用統計が市場予想対比で極めて堅調な結果となり、利上げ継続への思惑が広がった。カーブはヘアフラット化し、広い年限でFOMC前の金利水準を上回った。10年債は3.5%を上げてクロス。

## 【予想】

本日のドル円相場は底堅い推移を予想。先週金曜日の米1月雇用統計の結果に加え、政府が次期日銀総裁への就任を両副総裁に打診したとの報道を受けドル高円安が進んでいる状況。次期日銀総裁についてはその後鈴木財務相から「何も聞いていない」との発言があり今後の関連ヘッドラインに振られる展開には注意が必要だが、米雇用統計の結果を受け米利上げ継続観測が高まっている中ドル買い優勢の展開を予想する。

## 【本日の予定】

(アジア) 1月 対 CPI  
(アジア) 1月 ベトナム 国内自動車販売台数  
(アジア) 1月 豪 不動産インフレ  
(アジア) 4Q 中国 経常収支(速)  
(アジア) 4Q インドネシア GDP  
(アジア) 4Q 豪 小売売上高インフレ調整前  
(アジア) インドネシア 年間GDP  
(アジア) 休場 マレーシア、NZ  
(欧州) 12月 ユーロ圏 小売売上高  
(欧州) 12月 独 製造業受注  
(欧州) 1月 愛 新車登録台数  
(欧州) 1月 独 建設業PMI  
(欧州) 1月 英 建設業PMI  
(欧州) 1月 英 新車登録台数  
(欧州) 2月 ユーロ圏 センティックス投資家信頼感

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。